北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光地理論Ⅰ	科目コード	1221	単位数	3
担当者名	池ノ上　真一	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C.G	実務経験	無
ナンバリング	lTo402	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

21世紀は観光の時代と呼ばれ、各地で観光を活用した取り組みが展開しています。当科目では、地形と地域の理（ことわり）を探求する地理学の視点から、地域が観光をいかに捉え、どのように活用するかについて学修します。とくに人類の未来のための資産である世界遺産の視点から、多様な地形や地域を捉えるための手法を身につけ、観光を有効に活用するための基礎的な力の養成を目指します。
なお、この観光地理学Ⅰでは、日本国内の世界遺産の特徴をもとにして学ぶことで、国内旅行業務取扱管理者や世界遺産検定を取得するための基礎知識を身につけると共に、観光資源の発掘や新たな開発等に関する諸問題について絶えず関心を持ち、観光立国を目指す日本に必要とされる能力の醸成を図ります。
また、本授業では、教員からの一方通行の授業ではなく、学びのコモンズを形成することで、主体的でより深い学びを実現したいと考えています。そのためには、教員と学生、学生と学生の間でのインタラクティブなコミュニケーションを大切にしています。そこで、PC等を用いてLMSであるmanabaはもちろんのこと、webブラウザ、ワープロ・表計算・スライド系アプリなどを使用します。

到達目標

(1)日本各地の自然環境および多様な地域の特徴や魅力を理解できるようになる。(2)各地域の観光形態の変遷や今後あるべき姿について意見を持つことができるようになる。(3)世界遺産検定（3級日本の世界遺産）や国内旅行業務取扱管理者試験（「国内旅行実務：国内観光地理」）に関する基礎的な問題を解くことが出来るようになる。

授業内容

1週目 オリエンテーション（シラバス説明、受講方法、受講上の注意事項）
世界遺産の基礎知識
2週目 日本の世界遺産その1：自然・生態系・地形から捉える
3週目 日本の世界遺産その2：自然との共生から捉える
4週目 日本の世界遺産その3：建築・都市から捉える
5週目 日本の世界遺産その4：産業都市から捉える
6週目 日本の世界遺産その5：信仰や交流、負の遺産から捉える
7週目 日本各地を世界遺産で捉える　その１：地方別に分析する１（テーマ検討・エスキス）
8週目 日本各地を世界遺産で捉える　その2：地方別に分析する２（GW・エスキス）
9週目 日本各地を世界遺産で捉える　その3：分析結果を共有する１（反転授業　前半）
10週目 日本各地を世界遺産で捉える　その4：分析結果を共有する2（反転授業　後半）
11週目 日本各地の特徴と観光形態　その1：把握と企画1（テーマ検討・エスキス）
12週目 日本各地の特徴と観光形態　その2：把握と企画2（GW・エスキス）
13週目 日本各地の特徴と観光形態　その3：把握と企画3（GW・エスキス）
14週目 日本各地の特徴と観光形態　その4：（反転授業　前半）
15週目 日本各地の特徴と観光形態　その5：（反転授業　後半）
16週目 やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・（予習）テキストの内容や前授業の課題等を整理し次の授業でのディスカッションやワークに生かすための準備をすること。（90分程度）
・（復習）授業で取り組んだ内容を確認し課題に取り組むこと。（90分程度）

成績評価の方法・基準

・成績評価は原則70%以上授業に出席した履修者を対象とします。
・成績評価の基準としては、グループワークの成果物：30点、個別課題：３０点、最終発表会：30点、授業への積極的な参加姿勢やその他（授業のねらいを踏まえた積極的な取り組み）の加点：10点で判定します。

履修上の留意点

・【必須】授業に関するお知らせは、manabaから行います。常に受信・確認できるようにしてください。
・【必須】PC等での資料閲覧、検索、グループワーク、資料作成があります。授業の際には、各自でPC等を持参ください。(教室に十分な電源がありませんので、PC等の充電は事前に済ませてください)
・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
・単に知識を記憶することにとどまらず、社会に出てから役立つようにグループワーク等のアクティブラーニングが中心となります。そのため、グループに迷惑をかけないよう欠席しないで受講してください。
・学内無線 LAN（Wi-Fi）を活用し、授業時間はもちろんのこと、それ以外の時間も有効に使い学修効果を上げるための活動を積極的に行ってください。

課題に対するフィードバックの方法

・ディスカッションやグループワークに対し適宜フィードバックをします。
・さらに、単に知識を記憶することにとどまらず、社会に出てから役立つようにアクティブラーニングによって応用力を身に着けます。

テキスト

世界遺産検定事務局『きほんを学ぶ世界遺産100＜第5版＞ 世界遺産検定3級公式テキスト』マイナビ出版，1,980円
本テキストは「観光地理論Ⅱ」と同じテキストを使用します。

参考書

・帝国書院編集部『旅に出たくなる地図 日本 （22版）』（帝国書院）2,640円

更新日付

2026/01/30 02:04